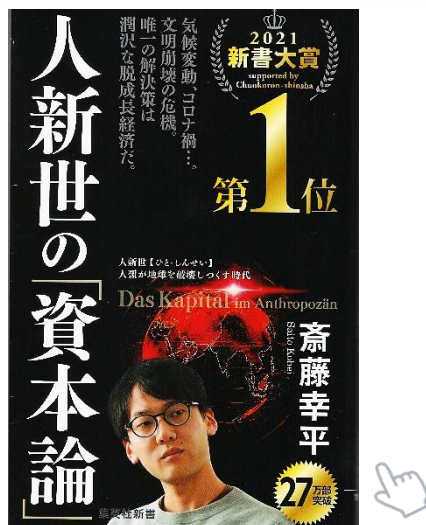


気候変動、文明崩壊の危機、脱成長経済



『人新世の「資本論」』／斎藤幸平／集英社新書 2020年』

著者紹介	大阪市立大学大学院経済学研究科・准教授
本の内容	資本主義を推進した経済活動によって便利な今日の時代まで発展してきた。さらに経済活動を進めると、その代償として地球が環境破壊する「人新世(ひと・しんせい)」の時代に突入し、早く対処することを警告している。利潤を追求する資本主義を諦めない限り、止められないが、文明の繁栄はどうか、問題を提起している。そんな危機の解決策は、マルクスの思想と照らし合わせながら、豊かな未来社会への道筋を具体的に独特な論調で展開されている。
こんな人に読んでほしい	地球温暖化と経済の発展の関係の今後に興味がある学生
おすすめコメント	産業革命以後、目覚ましく産業は発展してきたが、その代償として気候変動が現れた。今我々にできることは何か？

配置場所は[こちら](#)↓

